



海老澤 守男さん (若柳)

下妻市果樹組合連合会会長。常総ひかり農業協同組合理事などを務め、自らも85アールの梨畑で「幸水」「豊水」「新高」を生産し、若手農業者が希望の持てる環境整備を進めています。

### 「下妻の梨」を広め、消費者に喜ばれる梨づくり

平成25年を振り返って

4月の凍霜害で、梨の出来具合が心配されたものの、生産者の努力と夏場の天候の良さが幸いして、結果的には前年より3割多く出荷することができました。9月には、新たな取り組みとして、生産者の生産意欲向上と販路拡大につなげようと「下妻の梨」を海外に初めて出荷しました。シンガポールでは日系百貨店で販売しましたが、高値でも売れ行きがよく、魅力ある市場に今後の可能性を感じています。

また、「下妻の梨」は県の銘柄産地指定を受けており、品質の良い梨を安定して出荷していく責任があります。平成24年から始めた老木の植替えを進め、産地の若返りを図り、次の世代まで銘柄産地を持続させていきたい。そして、何の災害もなく、消費者に喜ばれる美味しい梨を生産し、市内の農家が梨の栽培を続けて良からったといえる環境をつくっていくと思



テレビの取材で、磯山さやかさんに「下妻の梨」を紹介する海老澤会長

今年の抱負

下妻甘熟梨のランチパックや梨のリキュールは、下妻を梨の産地としてPRするには大きな効果があります。

### 下妻発ご当地アイドル「しもんchu」で地域活性化

平成25年を振り返って

小貝川フラワーフェスティバルや砂沼サンビーチのオープン時など、下妻のイベントに参加し、ステージだけでなく、下妻産スイカやメロンなどの特産品を販売・PRしてきました。特に、5月のNHK水戸放送局の県西ワイドスペシャルでは、下妻を紹介するコーナーでメンバー2人が案内役を務め、ピアスパークしもつまでのステージは生放送されるなど、下妻を広くアピールできたと思います。また、平成24年に茨城県警察本部から「いばらき安全安心アンバサダー」の委嘱を受けて以来、警察や防犯協会が行う街頭防犯キャンペーンなどにも協力しています。



砂沼フレンドリーフェスティバルで元気に歌う「しもんchu」

今年の抱負

最近では県内外からも出演依頼を受けるようになりましたが、地域に根付いた活動を大切にしたいと思っています。一つ一つのイベントを大切に、一期一会の気持ちで、



内山 学さん (長塚)

下妻発ご当地アイドル「しもんchu」トータルプロデューサー。下妻市商工会青年部副部長を務め、今から2年前の砂沼フレンドリーフェスティバルで「しもんchu」を誕生させ、地元イベントへの参加や特産品のPRなど下妻を盛り上げています。

# 新春インタビュー 新年の抱負

新年あけましておめでとうございます  
下妻市には、さまざまな分野で活躍している皆さんがいます。  
今月号では、皆さんに活動の様子と、新年の抱負を語っていただきました。



中久喜 正さん (下妻乙・栗山)

しもつま生活向上夢工場実行委員会委員長。栗山商店会会長も務め、昨年の茨城県商店街活性化コンペ事業に挑戦した「くりやま「コミ×コミ」プロジェクト」が優秀プランに採択され、栗山商店街や下妻駅前前の活性化を進めています。

### 小さなまちでも、キラリと光る商店街に

平成25年を振り返って

昨年の「茨城県商店街活性化コンペ事業」では、地元でまちづくりに関心を持つ若者や筑波大生の協力を得ることができ、「地元の人たちとの交流を生むような活動をしよう」ということで、商店会・地元住民・地域の小中学校・高校・養護学校や関東鉄道を巻き込んだコミュニケーション重視の企画をつくることが、優秀プランに採択された要因にあつたと思います。空き店舗を活用した陶ランタンづくりでは、夏休みの小学生親子などが集まり、ユニークな陶ランタンが約120個できました。また、下妻駅前のイルミネーションでは、常総線開業100周年記念と宮沢賢治没後80年をかねて、機関車や8体の星座などのオブジェを8万個のLEDで飾りました。8体の星座は下妻中学校や下妻一高、下妻二高、下妻特別支援学校の生徒たちがリサイクルのペットボトルで制作しました。これらイ

今年の抱負

イルミネーションは、次も楽しみにしている声があるということに嬉しいことで、継続していきたいと思っています。



下妻駅前広場の鮮やかなイルミネーション

### 全国大会で上位を目指します

平成25年を振り返って

今年の抱負

中学2年のときに、全国中学校体育大会に初めて出場しましたが、目標にしていた決勝に進むことができず、悔しい思いをしました。中学3年になってからは、スイミングクラブのコーチから「全国大会で優勝するぞ」と目標を言われ、練習がきつくなりました。でも、中学2年の時の悔しい思いもあつたので、練習はつらかったです。頑張りました。



ジュニアオリンピックでの優勝を喜び、植竹さんと金メダル

そして、「全中で優勝したい」と思って泳いだ8月の全国中学校体育大会では、400m自由形と200m自由形で表彰台に上がることができ、応援してくれたお父さんやお母さん、みんなに「おめでとう」と言われ、一緒に喜びました。続いて出場したジュニアオリンピックの夏季大会では、400m自由形で優勝することができ、とてもうれしかったし、コーチからは「よくやった」と声をかけられ、自信につながりました。



植竹 亮太さん (皆葉)

千代川中学校3年、水泳部所属。昨年8月の全国中学校体育大会において400m自由形で第2位、200m自由形で第3位と見事に全国入賞を果たし、続く全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季大会では400m自由形で優勝するなど、今後の活躍が期待されています。